

Information

公益社団法人 全日本広告連盟
〒104-0061
中央区銀座 7-4-17 (電通銀座ビル 7F)
TEL. 03-3569-3566 FAX. 03-3572-5733

記者各位

第13回「全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞」に

株式会社 南都銀行『南都家の一族』(テレビCM)

第13回「全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞」選考委員会が4月19日に開かれ、応募18広告協会38作品の中から、最優秀賞に、株式会社 南都銀行による『南都家の一族』「ティザー」篇、「親父が死んだ」篇、「家の分割でもめる」篇、「砂山崩し」篇、「遺産がない」篇、「誰だよ?」篇、「姉さんちょっと!」篇、「なぜお前に」篇、「こんなのいらぬ」篇、「消えた遺言書」篇、「ご相談は南都銀行へ」篇(テレビCM)が選ばれた。

また、優秀賞には、日本ガス株式会社による『あしたを、あかるく、あつたかく。』「母と娘とごはん」篇、「父と息子とお風呂」篇(テレビCM)が選出された。

両賞ともに同日開かれた平成31年度第1回全広連理事会において承認され、贈賞は5月16日に富山市で開催される、第67回全日本広告連盟富山大会の式典上で行われる。

■第13回「全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞」最優秀賞

受賞者 : 株式会社 南都銀行

受賞作 : 『南都家の一族』

「ティザー」篇、「親父が死んだ」篇、「家の分割でもめる」篇、「砂山崩し」篇、
「遺産がない」篇、「誰だよ?」篇、「姉さんちょっと!」篇、「なぜお前に」篇、
「こんなのいらぬ」篇、「消えた遺言書」篇、「ご相談は南都銀行へ」篇
(テレビCM)

推薦協会:(公社)大阪広告協会

◆概要・贈賞理由

超高齢化国・日本の課題のひとつ『遺産相続』は、「一般家庭には関係ない」、「トラブルにはならない」と思われがちだが、実は遺産トラブルの75%が資産5000万円以下の家庭で起きている。加えて“まだ早い”、“不吉”と高齢者にはねのけられてしまうことが多い現状に対して、遺言信託の相談を促すことを目指した。

40~60代の相続を受ける側の立場から、故人が準備していなかったことで遣された彼らがトラブルに巻き込まれる様子をスラップスティック的な面白さを交えたコミカルなストーリーとして描いた。難しいテーマを面白くテンポの良い映像とストーリーで見せ、親しみを持って相談してみようかと思わせる内容が高く評価された。

■第13回「全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞」優秀賞

受賞者：日本ガス株式会社

受賞作：『あしたを、あかるく、あつたかく。』

「母と娘とごはん」篇、「父と息子とお風呂」篇

(テレビ CM)

推薦協会: 鹿児島広告協会

◆概要・贈賞理由

子育て中のママが、実家の母が作ったあたたかなごはんに元気をもらうとき、働き盛りのパパが、お風呂でのひと時、子どもの無邪気な笑顔に元気をもらうとき。そんな何気ない日々の風景を縁の下から支え、鹿児島の人々の暮らしを見守りたいという企業姿勢を、鹿児島出身の作曲家 吉俣 良 氏の曲にのせて市電が走る鹿児島の景色と共に描いた。

丁寧な映像と音楽による演出にのせた、共感をよぶストーリーが高く評価された。

【全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞とは】

全広連三代目理事長・鈴木三郎助氏からの寄附金を基に、地域のクリエイティブ活動の発展を図ることを目的に平成19年度より実施している作品賞。地域の活性化に貢献した優れたクリエイティブ作品の広告主を顕彰することにより、各地の地域活性化に貢献する広告の広告主となる企業が多数生まれることを目的とするもので、加盟各地広告協会から推薦された優秀なクリエイティブ作品の中から、「最優秀賞」及び「優秀賞」の2賞を選出している。

第10回（平成28年）より、贈賞の趣旨を明確にするため「全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞」と改称。

※当リリースに関するお問い合わせは全日本広告連盟（☎03-3569-3566）まで。